野外サークル６月度：『飛鳥の神社巡り』南コース　２０２２年6月１０日（金）

コ ー ス：　飛鳥駅～御園・天神社～平田・八坂神社～立部・春日神社～橘・春日神社～石舞台（昼食）
～岡：治田神社～岡・八坂神社～岡・高市御縣坐鴨事代主神社～川原・龍神社～川原・板葺神社
～川原・八坂神社～野口・小泊瀬稚雀神社～公園館（１４：４０解散）

飛鳥駅前集合・スタート

御園：天神社

天神社（祭神：高皇産霊神）

・高松塚古墳の南西、檜隈地区の北側「御園」に鎮座する社。「御園」とは神に供える蔬菜(そさい ＝野菜)が栽培された地のこと。
・①旧社格：村社
②祭神：菅原道真
③社殿：春日造

平田・八坂神社方面へ向かう　　忠魂碑（戦時中の海軍の『機雷』）　　平田・八坂神社方面へ向かう

文武天皇陵を通過　　高松塚休憩所でトイレ・休憩

遠くに牽牛子塚古墳が見えます（望遠撮影）

ホタルブクロ

平田・八坂神社方面へ

八坂神社への登り道

平田・八坂神社

平田・八坂神社

・明日香村「平田」の東方丘陵地、集落内に鎮座。かつては牛頭天王社と称されていたのを、明治 12 年に現社名に改称。

・①旧社格：村社
②祭神：須盞嗚命
③社殿：春日造

立部・春日神社方面へ向かう

立部・春日神社

立部・春日神社

・５０ｍ上に鎮座されていたのを国指定史跡定林寺跡として買い上げされた為、現在の地に遷宮・鎮座。

・①旧社格：村社
②祭神：須盞嗚命
③社殿：春日造

立部・春日神社の跡地

これは何かな？

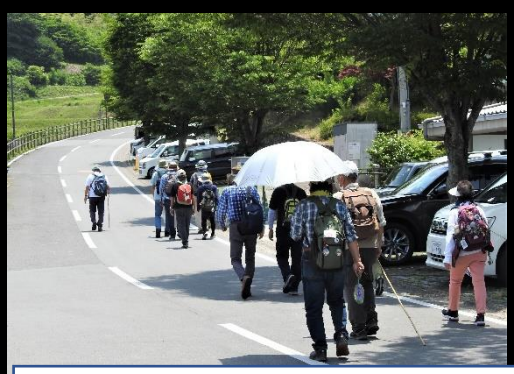
定林寺境内にあるマラ石に似た石柱

定林寺の床下に何があるのかな？

礎石を流用

定林寺でオオムラサキが！！

健康福祉センターでトイレ・休憩



橘・春日神社へ向かいます

橘・春日神社へ向かいます

橘・春日神社

橘・春日神社

明治の合祀令により立部の春日神社、野口の小泊瀬稚雀神社、島庄の春日神社を合祀、いずれも復社。

・①旧社格：村社
②祭神：天児屋根命
③社殿：春日造

昼食場所の石舞台へ

昼食・休憩

午後からのスタート

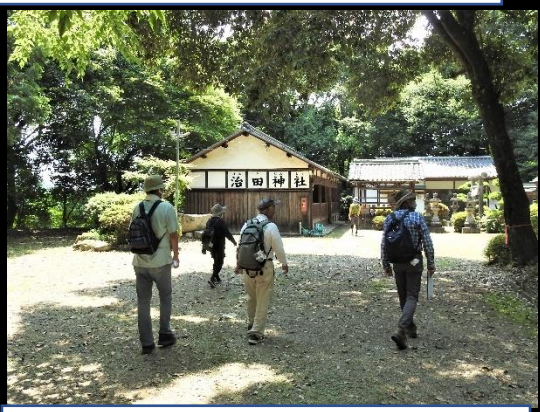
岡・治田神社へ向かいます

岡・治田神社への道も結構険しいです

万葉歌碑（巻２－１７２）

水分補給休憩

あと少しで、崗寺経由　岡・治田神社です

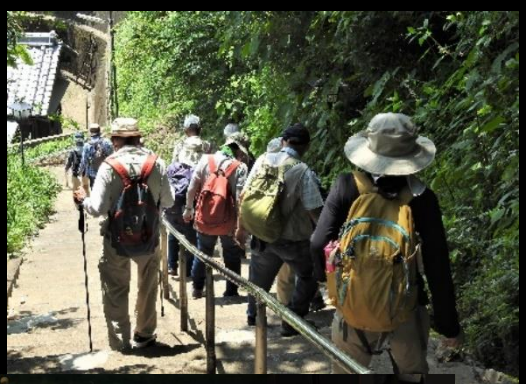


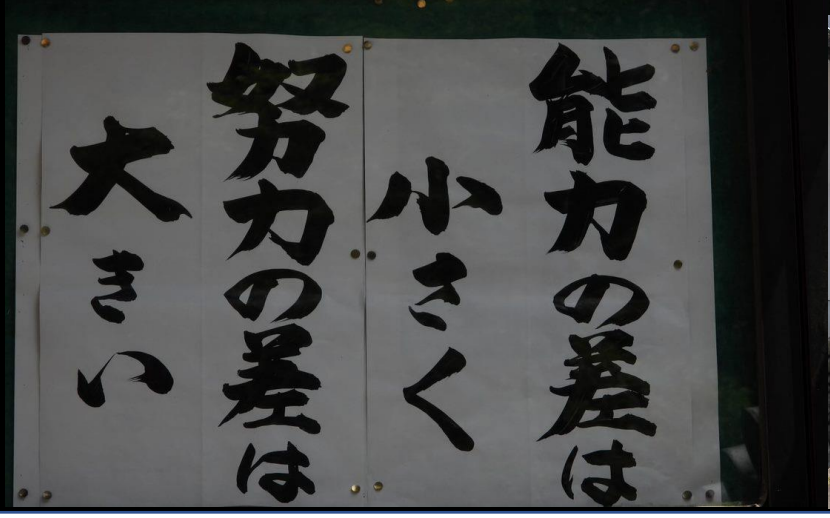
岡・治田神社

岡・治田神社

・８世紀初頭の岡寺（龍蓋寺）創建伽藍があったと推測され寺の鎮守神とて、境内地に祀られていた可能性がある。

・①旧社格：式内小社、村社
②祭神：品陀別（応神天皇）・須盞嗚命・大物主神





岡・八坂神社へ向かいます

岡・八坂神社

岡・八坂神社

・安産の神とされ、明治に治田神社に併合されたが元に戻る
・①旧社格：無格社
②祭神：高島産霊神・
天児根命・神功皇后
③社殿：春日造

高市御縣座鳴事代主神社（岡えびす神社）

高市御縣座鳴事代主神社
・岡えびす神社とも呼ばれている

・①旧社格：無格社
②祭神：事代主神
③社殿：流造

川原・龍神社へ向かいます

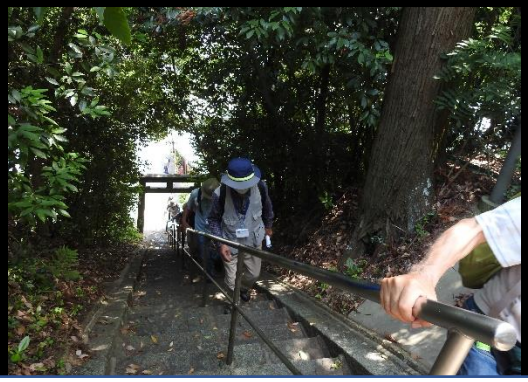
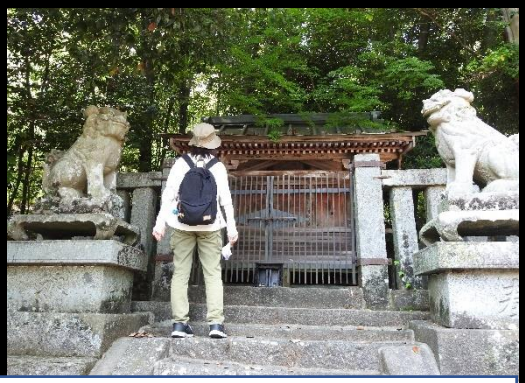
川原・板蓋神社

川原・龍神社

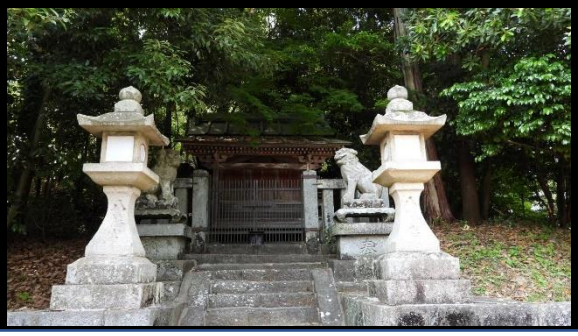
・明治に板蓋神社に合祀されたが旧社を復した。

・①旧社格：無格社
②祭神：豊玉比売命
③社殿：春日造

川原寺跡

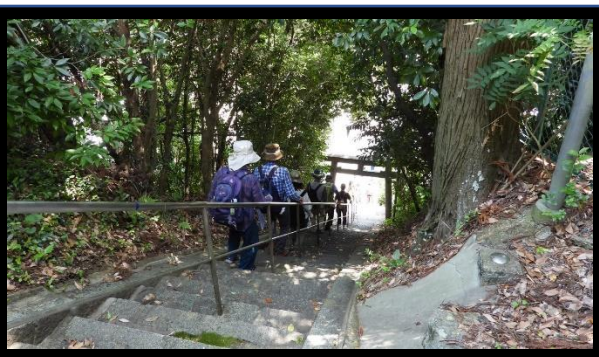
川原・板蓋神社へ、100 段近くの階段を一気に上ります



川原・板蓋神社

川原・板蓋神社

・八幡宮と称し、名前から板蓋宮との関わりが強いと考えられる
・①旧社格：村社
②祭神：応神天皇・仲哀天皇・神功天皇
③社殿：流造



川原・八坂神社へ向かいます

川原・八坂神社

川原・八坂神社

・「安永 3 年（1774）天王社」銘の燈篭がある。
明治に板蓋神社に合祀されたが旧社を復した。
・①旧社格：無格社
②祭神： 須盞嗚命
③社殿：なし

野口・小泊瀬稚雀神社へ向かいます

野口・小泊瀬稚雀神社

野口・小泊瀬稚雀神社

・かつてはここに「野口城」があったとされる。
・明治に板蓋神社に合祀されたが旧社を復した。
・①旧社格：村社
②祭神： 無烈天皇
③社殿：春日造

１２の神社巡りを終えて公園館へ・解散

・暑い中での“飛鳥の神社巡り、南コース”を企画、説明資料の準備、当日の案内を頂きましたスタッフの皆様有難う御座いました。

スタート時は、１２の神社巡りは到底無理ではと思われましたが、さすが野外サークルの皆さん元気よくゴールされました。同名の神社（春日神社・八坂神社）もあり、覚えるのも大変かと思いますが、当日配布されました神社説明をもとに写真にも内容を掲載させて頂きましたので、歩いたコースと共に、復習頂ければ幸いです。